

6 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 催 日 令和8年6月11日（木）
- 2 開 催 場 所 加古川市立義務教育学校両荘みらい学園 多目的室
- 3 出席した委員 小南教育長、溝口委員、土屋委員、小林委員、中山委員
- 4 出席した職員 鹿間教育総務部長、尾崎教育指導部長、
福本教育総務部次長、藤原教育指導部次長、
井上教育総務部活動地域展開推進担当参事、
今津教育指導部教育支援推進担当参事、
中川教育総務課長、大崎学務課長、岡本社会教育課長、
城学校教育課長、岡本教育支援課長、
窪田教育総務課副課長、太田教育総務課管理調整係長

5 傍 聴 者 1 人

6 議 事 の 要 旨

- 開 会 午後2時00分
- 会議録署名委員指名のこと
小林委員に決定
- 5月定例教育委員会の会議録報告承認のこと
（事務局より会議録朗読報告）
承認
- 会議公開の可否決定のこと
全ての議事を公開することに決定

（専決報告）

- 1 加古川市社会教育推進員の解嘱及び委嘱について
（教育指導部次長から説明）
承 認
- 2 加古川市社会教育推進員の解嘱について
（教育指導部次長から説明）
承 認

委 員 : 専決の理由に町内会より解散の届け出があったためとあるが、当該町内会がなくなるということか。

事 務 局 : そのとおりである。

委 員 : 町内会をはじめ、その他の地域団体の活動継続が難しくなっている状況があると感じる。市として状況を把握しているのか。

事 務 局 : 老人会や婦人会などの解散や活動縮小の状況については把握している。社会教育課所管のPTAや少年団においても、従来どおりの活動が難しい状況であるため、各団体において負担軽減を図りつつ活動を継続できるよう工夫を行っているところである。

委 員 : 社会情勢の変化により難しい面はあるが、これまで地域を支えてきた組織がなくなってもよいというものではない。教育委員会として状況把握に努め、可能な支援について検討していただきたい。

教 育 長 : 少年団においては、団員以外も参加できる取組が行われている。町内会活動についても、活動を継続していくための工夫が必要である。

(協議事項)

- 1 加古川市特別支援教育就学・進路支援委員会委員の委嘱及び任命について
(教育指導部参事から説明)
原案可決

委 員 : 20年ほど前に特別支援教育就学・進路支援委員を務めていた頃に比べ、判定どおりの就学率が高くなっており、保護者やこどもの意向に沿った支援が進んでいると感じた。

事 務 局 : 委員会へ諮る際に、保護者との十分な合意形成を図るとともに、こども本人の意向も尊重するよう学校へ依頼している。その成果の一つであると考えている。

教 育 長 : 委員の負担軽減に向けた今後の取組はあるのか。

事 務 局 : 医師の専門とする診療科に応じて対象者を集約し効率的に審議を行うことや、オンラインによる審議の実施についても検討しているところである。

○ 次期定例教育委員会予定日のこと

7月9日(木)午後2時00分から開催することに決定

○ 教育長諸報告

- (1) 令和8年第2回市議会(定例会)一般質問について

5月29日(金)と6月1日(月)に実施された一般質問について、教育委員会関係部分の質問議員と質問内容について報告した。

- (2) 令和8年第3回加古川市議会(臨時会)日程(案)について

令和8年第3回加古川市議会（臨時会）日程（案）を説明した。

（3）令和8年第4回加古川市議会（定例会）日程（案）について

令和8年第4回加古川市議会（定例会）日程（案）を説明した。

○ 教育委員諸報告

〔中山委員から〕

（1）令和8年度加古川市学校保健会総会について

6月18日（木）に加古川市学校保健会総会が開催される。総会では、学校医として20年間務められた方の表彰のほか、記念講演が予定されている。

〔小林委員から〕

（1）運動会に参加しての感想について

先日、こどもの小学校の運動会に参加した。徒競走では児童一人一人の名前を紹介する工夫がなされており、保護者や児童同士のつながりを感じることができた。

また、児童の意見を取り入れた運営が行われており、手作り感のある運動会であった。

（2）スポーツテストの結果について

小学校で実施されたスポーツテストの結果について、自分の過去の記録と比較できるよう工夫されていた。全国平均との比較だけでなく、自身の成長を実感できる内容となっており、継続的な学びにつながっていると感じた。

〔土屋委員から〕

（1）学校行事を通じた地域・保護者間の交流について

両荘みらい学園のPTA会長との話の中で、ドッジボール大会を通じて保護者同士や地域住民の交流が図られたことがよかったとの意見を伺った。運動会についても、保護者同士や地域住民が交流する貴重な機会であると感じている。近年は午前中開催が主流となり、交流の機会が減少している面もあるが、地域や保護者同士のつながりを深めるため、何らかの取組について検討する必要があるのではないかと感じた。

〔溝口委員から〕

（1）学校行事を通じた地域・保護者間の交流について

土屋委員と同様に、学校行事は保護者同士や地域住民が交流する貴重な機会であるとする。しかしながら、町内会等の地域団体の活動継続が難しくなっている現状があり、学校現場の負担を考えると新たな取組を求めることも容易ではない。そのような中で、地域や保護者同士のつながりを深めるための方策について考えていく必要があると感じた。

○ 教育総務部長報告

（1）就学援助の申請受付について

就学援助の申請受付が6月1日（月）から6月9日（火）までを集中受付期間とし、その後は学務課窓口にて随時受付を行う。

また、令和7年度から開始しているオンライン申請について、5月25日（月）から6月14日（日）までの間で受付を行う旨を報告した

（2）小・中学校児童生徒・学級数推計について

小・中学校児童生徒・学級数推計について報告した。

教 育 長 ： 今後、学級数の増加が見込まれる学校については、教室の確保や施設整備についても計画的に対応していきたい。

（3）かこ☆くらに係る取組について

体験会（新規種目分）の実施、公民館事業との連携及び自転車通学の特例について報告した。

委 員 ： 自転車通学の特例については、自転車の盗難や交通事故等のリスクが懸念される。また、夜間の移動や街灯の少ない道路での安全面についても心配である。予算面での課題はあると思うが、街灯の整備や生徒に対する自転車利用に関する指導の機会を設ける必要があるのではないかと。

事 務 局 ： 安全面に関する課題については認識している。まずは試行的に実施し、利用状況や課題を検証した上で、本格実施に向けた対策を検討していきたい。

委 員 ： 学校から自宅へ戻った後に地域クラブへ参加することを原則としているが、学校から活動場所へ直接向かった方が効率的な場合もあるのではないかと。

事 務 局 ： 地域クラブ活動と学校教育活動との線引きも踏まえながら、今後の検証課題として整理していきたい。

教 育 長 ： 警察署との話の中でも、若年層は自転車の施錠をしないことが多く、自転車盗難の要因の一つとなっているとのことであった。自転車利用に係るルールの徹底や安全指導に十分配慮しながら進めていきたい。

また、自宅へ戻ってから活動場所へ向かうという原則についても、一律に運用するのではなく、生徒の居場所や安全性等を踏まえながら、個別に判断していく必要があると考えている。

以上、3件について報告

○ 教育指導部長諸報告

（1）令和8年度加古川市社会教育・福祉教育推進員全市研修会の開催報告について
6月7日（日）に開催した令和8年度加古川市社会教育・福祉教育推進員全市研修会について報告した。

（2）令和8年度教科書展示会の開催について

6月12日（金）から教科書展示会を開催することについて報告した。

(3) 令和8年度加古川市教育委員会主催初任者研修の実施について

令和8年度の加古川市教育委員会主催初任者研修の実施について報告した。

(4) 令和8年度『未来を拓く学び』の実現を目指す研修講座等の開催について

令和8年度の『未来を拓く学び』の実現を目指す研修講座及び全市選択必修研修
の開催について報告した。

以上、4件について報告

○ 閉 会 午後3時00分